

教育機関（専門学校・大学等）の皆様へ

実習・研究用「小型工作機械」のご提案

弊社の小型工作機械は、工作機械の基本操作を安全に学べる教材として、多くの教育機関様に導入いただいております。

**安全な実習環境 確かな基礎学習
学生・生徒の皆様の、未来の「ものづくり」を支援します。**

強み①：安全に「工作機械の基本」を学べる

安全性を最優先した実習環境

● 「怖くない」から、積極的に触れる

大型機特有の威圧感がないため、機械に不慣れな学生でも恐怖心を持たずに実習に取り組めます。

● 挫折を防ぐ「ステップアップ学習」

いきなり大型機を扱うのではなく、まずは小型機で基本と自信を習得。その後の大型機実習へのスムーズな架け橋となります。

- ・コンパクト設計でリスクを低減
- ・導入時から安全操作を徹底指導

基礎学習から実践へ

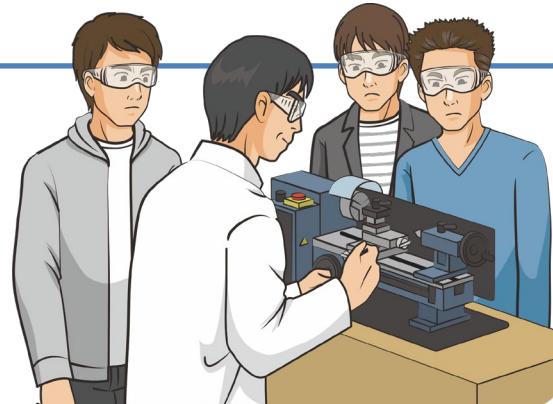
大型機と同様の基本構造を持つため、汎用工作機械の操作や加工の「基本を学んで戴けます」。小型機で得た知識は、そのまま大型機での実践に応用可能です。

ステップアップ学習フロー

小型機での
基礎学習

操作・加工
の基本を習
得

大型機での
実践応用

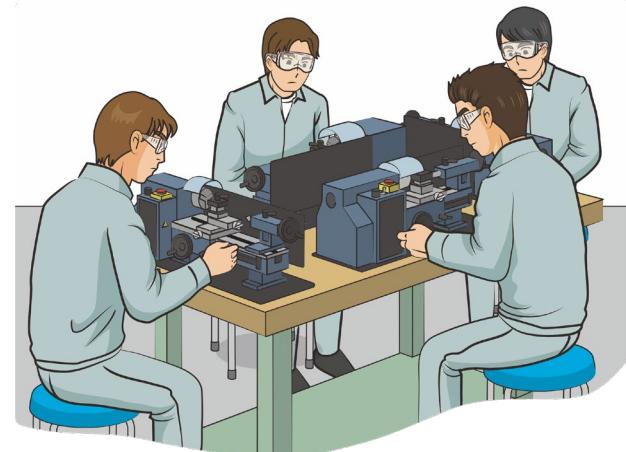


強み②：教育・研修現場での豊富な「導入実績」

全国の教育機関・研修施設で活躍

「様々な教育機関で工作機械の実習用にご使用いただけておりまます」。また、外国人技能実習生の技能検定の練習用として多くの企業様にご利用いただいているほか、一部の企業様では小ロット生産や治具製作の専用機としてもご活用いただけております。

- 専門学校・工業高校
- 大学（工学部・研究室）
- 職業能力開発センター
- 企業の研修施設（技能実習生用）
- 企業の生産ライン（小ロット・治具用）
- その他（ホビー・個人利用など）



強み③：導入・設置が容易（電源・スペース・コスト）

**既存の施設環境を大きく変更することなく、
手軽に実習環境を構築・増設できます。**

特別な電源工事が不要

多くの製品が「電源は100Vです」。特別な環境は必要ありません。

省スペース設計

「少ないスペースでの加工が可能」なため、既存の実習室や研究室にも手軽に導入いただけます。

低成本での導入

「低価格での購入が可能」なため、複数台数を揃えた実習環境の構築にも最適です。

他の生徒の待ち時間をなくし、全員が授業時間一杯まで手を動かせる環境が作れます。

【メディア掲載】文部科学省、ものづくり教育強化へ。「工業高・高専に1校20億円」の支援方針(日本経済新聞)

2025年11月18日発行の日本経済新聞にて、文部科学省が「ものづくり人材」の育成強化に向けた新たな支援方針を打ち出したとの記事が掲載されました。

これからの日本の製造業を支える技術者を育てるため、工業高校や高等専門学校(高専)の教育環境整備に対して、国が手厚い予算を投じるという内容です。

- 1校あたり約20億円の支援**: 文部科学省は、工業高校や高専を対象に重点的な資金配分を行う方針です。抜粋された拠点校に対し、1校あたり20億円程度の予算が配分される見通しです。
- 最先端機器の導入を推進**: この資金は、デジタル制御された最新の工作機械や、AI(人工知能)・IoT・ドローンなどを活用した「スマート農業」「スマート産業」を学ぶための設備導入などに充てられます。
- 背景にある労働需給の変化**: 経済産業省の推計では、2040年にはAI・ロボットなどの生産工程を担う人材が不足する一方で、事務職などは余剰となる予測が出ています。こうした産業構造の変化に対応するため、教育内容の高度化と理系人材の育成が急務とされています。
弊社といたしましても、こうした国の「ものづくり強化」の動きを歓迎するとともに、教育現場への先端機器導入や環境整備を通じて、次世代のエンジニア育成に貢献できるよう努めてまいる所存です。

詳細な記事内容は、2025年11月18日付の日本経済新聞、または同社電子版にてぜひご覧ください。